

Before デザイナーではない人が作ったチラシの陥りやすい点

紙のぎりぎりまで情報を置くと、画面周辺の4辺の空気が狭く、窮屈な感じになってしまっています。ここは15ミリほど空白のスペースを取りましょう。

情報をたくさん詰め込みすぎてゴチャゴチャになってしまい非常に読みにくい物になっています。

このようなグラデーションは、テーマにふさわしくありません。カレーレストランのイメージに合いません。

これだと写真の大きさが同じなので、メリハリがありません。また、影を落とすよりも、写真を大きく見せた方がおいしそうに見えます。

お客様のためになる情報が小さく、細いので目立ちません。大きく、目立つようにしましょう。

タイトル、小見出し、本文の文字の大きさが似ているので、情報にメリハリを感じる事ができません。また、細い明朝体で1行がとても長く、読みづらくなっています。

様々な書体を使ってしまっているため、統一感が無く、安っぽい感じになってしまいます。

いろんな色を使いすぎてゴチャゴチャに見えてしまっています。



半蔵門にカレー

世界のカレーが

ご家族そろって

飲み放題コース
60分 3500円!

ビール
ワイン
チューハイ

開店記念に、先着30名様

半蔵門にカレーレストランがオープンします

世界のカレーが食べ比べできる、カレー好きにはたまらない
カレー専門レストラン

3月5日(木) OPEN



チキンティッカマサラ (おすすめ) タイカレー&ロティ (おすすめ) インドのムルグ・マカニ (おすすめ)

食事・おかずなどを意味する「カリ」(タミル語 kari) という言葉があり、それが英語で「curry」と表記されるようになったと言われている。

こだわりのスパイス

インド料理は香辛料を多用するため、外国人の多くはインド料理の煮込み料理を「カレー」と認識している。しかし外国人がカレーと呼ぶインドの煮込み料理は、サーグ、サンバル、コルマ、ダールなど、それぞれに固有の名称があり、「カレー」という料理はない。ただし、インドの観光客向けのレストランやインド国外のインド料理店では便宜上、メニューに「〇〇カレー」という表記をしていることも多い。これは、旧宗主国のイギリス人がインド料理をカレーと総称して世界に伝えたことがおもな理由である。

インド固有の言語には「カレー」という言葉はない。ただしドラヴィダ語族には野菜・肉・食事・おかずなどを意味する「カリ」(タミル語 kari) という言葉があり、それが英語で「curry」と表記されるようになったと言われている。

世界のカレーの歴史

タイにはタイ語でゲーンと呼ばれるスープ状の食品がある。タイの宮廷で発祥した料理で、インドのカレー料理との直接の関連性はない。しかしながら、複数の香辛料を用いるというカレーとの類似性から、タイカレー(英: Thai curry) と呼ばれる。

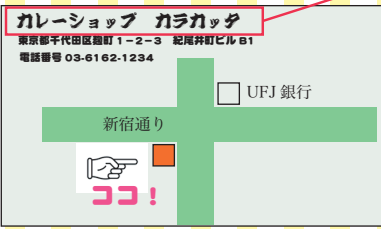
水分が多く香辛料を使用したタイ料理である。生の香辛料を使用する事が多く、唐辛子、ニンニク、エシャロット、ハーブ類(ショウガ類、レモングラス、コブミカンの葉、コリアンダーなど)をすりつぶして作った「ゲーン・クルーン」を炒め、海老や鶏肉、野菜などを水やココナッツミルクで煮込みます。

3月5日(木) OPEN

開店記念に、先着30名様に
なんと10%割引いたします!

飲み放題コース
60分 3500円!

もあります!



お店の名前はチラシ全体にかかるものです。小さくせず、地図の中にも入れないようにしましょう。

文字を変形しすぎると、読みづらく、美しくありません。

このようなフリー素材は安っぽいイメージになるので、使うのはやめましょう。

この地図では、詳しい場所がわかりません。営業時間などの必須項目も抜けているので、お客様は戸惑います。